

こんなこともやっています

交通安全講習会



安芸高田警察署の署員を講師に迎えた交通安全講習会を毎年開催しています。高齢者の事故防止のためのポイントを分かりやすく解説。会員に限らず、誰でも参加が可能です。

剪定講習会



講師(本職)から安全な作業方法や樹木の剪定時期、病虫害の予防方法などを事例をもとに解説。座学のほか、実際に剪定の実技指導も行っています。

刈払機取扱講習会



刈払機の仕組みや手入れ方法、草の正しい刈り方を指導してもらいます。故障した機器を持参して講師に直接聞くことができるのも魅力の一つです。

ボランティア活動



吉田、可愛、郷野の3か所で公園清掃、剪定等を行いました。



【10月】小田小学校で草刈り・草取りを行いました。



【11月】根野小学校と刈田小学校で剪定・清掃を行いました。



【11月】旧ひまわり保育所で草刈り・集草を行いました。



【8月】高宮支所で剪定・草刈り・草取りを行いました。



【10月】やすらぎにて草刈り・草取りを行いました。

会員募集中!

毎月15日(土日・祝日の場合はその翌日)の14時から、センターの本所で説明会を開催しています。シルバー人材センターの仕組みや概要等をご納得いただいた上で入会の手続きをさせていただきますので、まずはお気軽にご相談ください。あなたにぴったりのお仕事がきっと見つかります。また、お仕事も随時募集しています。「ちょっと手を借りたい」という時もぜひお声がけください。企業からのご依頼もお待ちしております。



安芸高田市
シルバー人材センター
山永大輔さん

新任事務局長のごあいさつ

平成30年4月1日付で事務局長に就任させていただきました可愛川でございます。3月末までは、安芸高田市役所の福祉保健部でお世話になりました。

シルバー人材センターが地域のみならずますます信頼されるように、朝の清々しいあいさつからスタートする明るい職場づくりと、向上心を大切に、何でも相談して助け合う組織づくりに微力ながら努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



えのかわ みちのり
可愛川 實知則さん

〈お問い合わせ〉 公益社団法人 安芸高田市シルバー人材センター

安芸高田市吉田町多治比611-1
☎42-4411

2月から仕事がスタート
住野工業株式会社
高宮工場

2月からシルバー人材センターに仕事の依頼を始めた住野工業(株)高宮工場。仕事を依頼することになった経緯や想いを製造部プレスグループマネージャーの仲澤さんにうかがいました。



新設された作業場



この日作業を行っていた会員のみなさん。仕事中は黙々と作業を行っていますが、昼休みにはワイワイと楽しい時間を過ごしています。

広島市西区商工センターに本社を構える住野工業(株)は、プレスや溶接を行う自動車部品メーカーです。今年2月からシルバー人材センターへ仕事の提供をスタートしました。「人材不足が全国的に深刻化する中、弊社も人材の確保に苦慮していた企業のひとつです。シルバー人材センターさんから仕事の提供の依頼を受けた時、弊社の経営理念にある『社業を通じて社会に貢献』を実現することができると考え本社に相談しました。本社も快諾し仕事をお願いすることになりました」と仲澤さん。これを機に同社は敷地内に空調設備を備えた作業エリアを新設。現在、1日6名前後の会員がここで作業を行っています。また、スタート時には作業に不慣れな会員をサ



「最初は不安もありましたが、今ではとても品質の高いものが仕上がっています」と住野工業(株)の仲澤さん。

ポートするため、社員によるバックアップ体制を整備。「携わる企業の多い自動車部品の製造は、納期を絶対に遅らせることができない仕事です。取引先に迷惑をかけないためにも、一定の基準を設けて品質確認させてもらいました。スタートから2か月が過ぎ、みなさんとても丁寧な作業を行ってくださり、今ではチェックの必要もなくなりました」と仲澤さんは話します。

住野工業(株)では、シルバー人材センターに依頼したことで、これまで本社で行っていた「組付け」という作業が高宮工場内で行えるようになり、高宮工場内でも完成品を作ることができるようになり、運送費の削減に繋がっています。「シルバー人材センターの近村さんは、『仕事を依頼してよかった』と思ってもらえる企業様をこれからも増やしていきたいです」と話してくれました。

会員さんの声

2か月が過ぎ、大分仕事にも慣れてきました。家にも一人で静かな時間を過ごすだけ。ここで仲間ができてとてもうれしいです。仲間と一緒に、たわいもない話をしながらお弁当を食べる時間が大好きです。



中村美恵子さん

決められた品質をクリアできる製品を作ることに達成感を感じ、毎日、とても楽しく作業しています。最近では、社員さんのチェックもなくなり、私が作った製品が直で工場に流れるようになりました。責任感を感じつつ、そこに大きなやりがいも感じています。



リーダー 平田和幸さん